

European Conference on Pattern Language of Programs (EuroPLoP) における

『Generative Beauty Workshop』の研究発表

総合政策学部 3年 赤土由真

1. 活動日程・場所

7月6日～7月15日 ドイツ・バイエルン州イルゼー

2. 活動の目的

本研究は、女性がよりいきいきと美しく生きるための支援方法を模索してきた「Generative Beauty Project」の一環として、人々が「いきいきと美しく生きる」コツや秘訣を共有するためのワークショップの設計と実施、そしてそこで共有されたコツや秘訣をパターン・ランゲージという手法を使ってまとめることを目的としている。今回の活動では、ドイツで開催されるパターン・ランゲージの国際学会である European Conference on Pattern Language of Programs(EuroPLoP)にてこれまでの研究成果を発表するだけでなく、専門家やその他の参加者から講評や具体的なアドバイスを得て、ワークショップの知見共有及び深化を図る。

3. 研究の成果

今回この学会に参加するにあたり、次のような成果が期待されていた。シェパードリングを通して研究成果の改善と向上を図ること、パターン・コミュニティに人間行為に関連するパターン・マイニング・ワークショップの形を提案することで貢献すること、そして今までも行われていたパターン・マイニング・ワークショップの技法をパターンとして記述することで、知見を共有することである。

シェパードリングでは、論文はもちろん、特にパターンの質の向上を行うことができた。今回シェパードリングを担当して下さったベリペカ・エロランタさんは今年の EuroPLoP の Program Chair も行うほどのベテランで、何年もパターン・コミュニティで活動しパターンを書いてきている。パターンの伝えたいことを理解した上で改善案を提示して下さったり、理解が難しい場合はどう理解しづらいのかを伝えて下さったりした。その結果、論文内で重要な役割をしているパターンの質をさらに上げることができた。

今までパターン・マイニング・ワークショップは実際にパターンを書くという、パターン・ランゲージをある程度理解していないと参加できないものであった。私たちが Generative Beauty Workshop として開催したものはパターン・ランゲージに関する知識に関係なく、参加できるものである。パターン・ランゲージに関する知識がなくとも、そのテーマに対する興味や経験があればマイニングの過程には参加できるはずなので、場をより多くの人に開くことができるという点で評価していただいた。

また、パターン・マイニング・ワークショップのパターンという「メタ・パターン」を提示したわけだが、パターン・コミュニティにはこういった「パターンに関するパターン」が未だ少ないという問題意識がコミュニティにすでにあり、「メタ・パターン」としての重要性を評価していただいた。論文を読んで下さった参加者の中でもワークショップを行ってきた人が多く、パターンにして知識を共有する重要性を感じたと言ってくれた。



学会参加者の集合写真

4. 今後の発展

まずは11月にある最終提出へ向け、今回もらったフィードバックを反映し、論文の改善と向上を続ける。さらに、今後パターン・マイニング・ワークショップのパターンを増やしていくのか、現在パターンをつくる過程（マイニング、ライティング、イラストレーティング）を記している「メタ・パターン」の一部となるのか検討する。

そして、今回作成したパターン・マイニング・ワークショップ・パターンを使ってワークショップを今後も開催していきたいと考えている。これからもこのパターン使っていく中で新しいパターンを見つけたり、すでにあるパターンを改善したりすることで、パターンの質の向上を続けていきたい。

5. 謝辞

ご指導いただいた井庭崇先生をはじめ、井庭研究室のメンバー、助成金をいただいた湘南藤沢学会様の支援により、研究を深めることができました。心より御礼を申し上げます。